

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○夢や希望や目標をもち、それに向かって努力を重ね、認め合い、語り合える学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図りながら、児童が友達とのコミュニケーションを大切にし、学習の楽しさを実感し、主体的・対話的に問題解決を進めていくような学習展開を図ります。 ・児童一人ひとりが自己肯定感・有用感をもち、楽しく学校生活を送りながら、夢や希望を語り合える学校にします。 ・学校中に挨拶や笑顔や歓声があふれ、豊かな心や、健やかな体を育成する学校にします。 ・家庭や地域の教育力を学校に取り込むことを通して、進んでまちとかかわり地域とともに生きる児童を育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	挨拶を進んで行い、同学年・異学年の友達と進んで関わり、自分や友だちを大切にする気持ちを育てる。	①音楽朝会を通して、情操教育を充実させる。 ②あいさつ運動、縦割り活動を通して人との関わり方を学び、挨拶やあたたかい言葉遣いなど心の教育を行う。 ③道徳では、各学級で年1回の授業公開を行う。
担当	人権推進部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、素直で与えられたことはきちんとやる児童が多く、また「話したり、聞いたりして、人とかかわることが好き」と答える児童も多い。けれど、生活や学習の場面では、自分の考えを書いたり話したりして伝えることに苦手意識をもち、人との関わり方の弱い面も見られる。学び合いの中で、表現し、交流する力を身に付ける必要がある。経年挨拶運動をしている。朝の校門での挨拶は増えているが、自発的挨拶には個人差がある。道徳的価値は頭では理解しているが、実際には行動に表せないことが多く、友達の立場に立って思いやりをもって考えることがなかなかできない児童もいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域（年1回以上）に公開する。【視点1】
- ・懇談会等で、道徳の授業について話をし、家庭との共通理解を図り、様子を家庭へ知らせていく。【視点1】
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」「生きる」を積極的に活用する。【視点1】
- ・「特別の教科 道徳」の実施に向け、新しい内容項目を取り入れた授業展開を図る。【視点2】

指針2 体験学習の充実

- ・6年生がリーダーとなって縦割り活動を行い、高学年のリーダーとしての意識、グループ内で互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てる。【視点3】
- ・体験的な学習では、保護者や地域の方にいっしょに参加していただく機会を増やし、豊かなかかわりの中で思いやりの心やコミュニケーション能力を育てる。【視点4】
昔遊び、まち探検、米作り、薫なえ、家庭科支援（ミシン等）、図書室支援等での協力

指針3 豊かな人権感覚・意識の育成

- ・人権週間等「人権」に関する取組を公開し、子どもが様々な人との関わりをもち、考えを広げていけるように、普段の授業や学校・家庭生活に積極的に関わってもらえるよう家庭への協力を呼びかけていく。【視点6】
- ・年間を通して、挨拶推進のための「これのきあいさつ運動」週間を実施して挨拶の定着を図ったり、友達を意識した言葉遣いを推進するための保健委員会を実施したり、「ふわふわ言葉」の奨励・定着を図ったりする。【視点6】
- ・必要な子どもに対しての個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成する。【視点8】
- ・一般学級の子どもは、学校行事等で、個別支援学級の子どもと一緒に過ごすことを通して、学び合いながら相互理解を深める。【視点8】

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・日本の文化や伝統（尺八、琴等）に触れる学習を設定する。（6年）【視点10】
- ・展示スペースやスロープギャラリーを常設展示場にし、計画的に各学年の作品展示を行ったり、校内作品展やニレの木スタディフェスタ（学習発表会）等を実施したりして、本校児童だけでなく、保護者・地域に公開する。【視点10】
- ・月1回の音楽集会に向けての取組を通して、音楽に親しみ、音楽性を高めるとともに、互いに協力することや認め合うことにより達成感や成就感を味わえるようにする。【視点10】
- ・毎週水曜日の全校一斉朝読書タイムや保護者ボランティアによる読み聞かせ、読書週間や読書集会を計画的に行う。【視点11】
- ・図書ボランティアによる「お話ころりん村」やエプロンシアターを計画的に行う。【視点11】